

令和4年度第3回社会教育委員会議定例会会議録（11月）

- 【日時】 令和4年（2022年）11月9日（金）15時～16時30分
- 【場所】 鎌倉商工会議所301会議室
- 【出席委員】 蛭田議長、梨本副議長、田中委員、品川委員、遠山委員、石井委員、
島田委員、杉野委員、中島委員
- 【行政職員】 佐々木教育文化財部長、森教育文化財部次長、鈴木文化財課長、
栗原図書館長
- 【事務局】 松山社会教育主事、岸社会教育指導員

【議事内容】

1 開会

- 委嘱状の交付
- 教育長挨拶

事務局（松山社会教育主事）

委員の方には令和4年11月1日付で鎌倉市社会教育委員に就任頂くことになり、任期は令和6年10月31日までの2年間となる。本日が就任後初の会議になるので、会議の開催に先立ちまして岩岡教育長より席に伺い委嘱状を交付する。

（委嘱状交付）

事務局

続いて教育長からご挨拶申し上げる。

岩岡教育長

お忙しい中、社会教育委員会議に出席頂き感謝する。また、今期新たに任命された方、また引き続きお願いされた方両方いらっしゃるがよろしく願います。社会教育を巡る環境は、鎌倉市においても大きく変わって来ているというように認識している。色々な課題と共にチャンスが生まれていると思っており、ひとつは生涯学習センターの指定管理者制度の導入と、新たに本庁舎の深沢移転というところに合わせ、深沢の市庁舎のあり方も変わって来る。今ある鎌倉の旧庁舎の中でも市民の皆さんが色々な事を学んだり、交流したりするスペースを新たに作ろうと言う動きも出てきている。それに合わせて新しい図書館のあり方も構想が出来るというタイミングがあり、考えると言う意味では大変だと思われるタイミングも、この時代に合わせた新しい場所を構想出来るという意味では、チャンスでもあるというように思っている。また、部活動の地域移行という話があり、地域の皆様と一緒に一生涯にわたって体育を子ども達が楽しんでいける環境をどのように作るかということも重要な課題となっている。学校教育においては、コミュニティースクールという形で、学校と地域社会が協働して教育課程を作っていくあり方を模索し始めた所である。色々な人がコラボレーションする中で地域の方が解決したり、価値を生み出していくということが、だんだん社会の潮流として広まってきている中、この社会教育委員会議の役割も大変大きくなってきていると思うので、是非皆さんにおかれましては、各議題について活発に意見をいただき、本市の社会教育の振興にぜひご尽力を頂ければと思う。雑駁ですが私の挨拶とさせて

頂く。

(教育長公務のため退席)

事務局

只今より令和4年度第3回社会教育委員会議定例会を開催する。まず、鎌倉市社会教育委員会委員会議規定第4条第1項の規定により、皆様の互選により、議長、副議長をそれぞれ1名選出したいので、推薦等お願いする。

島田委員

当委員会は、継続的な課題も多いことから、前期に引き続き、蛭田先生に議長、梨本先生に副議長をお願い出来ればと思うので、お取り扱いの方をよろしくお願いする。

事務局

島田委員から議長を蛭田先生、副議長を梨本先生で、という提案があったが、その形で進めてもよろしいか。(全出席委員了承) それでは引き続き、議長、副議長をよろしくお願いする。

蛭田議長

いろいろな意味で難問題もあると思うので、皆様の発言をいただきながら進めていければと思っている。よろしくお願いする。

それでは、委員の出欠状況の確認をお願いする。

事務局

下山委員から欠席のご連絡があったが、委員の過半数の出席により、会議は成立していることをご報告する。

蛭田議長

この会議が成立しているという報告を受けたので会議を進める。資料の確認をお願いする。

事務局

会議資料は、事前にお送りした。本日は、お手元のiPadから資料をご覧いただくことになる。すでに電源は立ちあがっているので画面をスクロールしてご覧いただきたい。iPadには次第、議案集、差し替えて新しくしたものが入っている。机上には、きらら鎌倉市生涯学習センターリーフレット、鎌倉市社会教育委員名簿、社協連会報、神奈川県社会教育委員連絡協議会総会の資料、図書館とともだちの会報誌を置いた。iPadが作動しない、資料が足りない等があれば何う。

2 議題

(2) 報告事項

ア 令和4年度社会教育事業 鎌倉武～秋の実施報告について(生涯学習課)(議案集P1)

森生涯学習課長

10月1日の人事異動により、前任者の瀬谷から生涯学習センターの事務を引き継ぎ、博物館関係と生涯学習センターを併せ、生涯学習の担当をしている。よろしくお願いする。報告事項のアの説明をさせていただく。教育委員会が主催する社会教育事業では令和4年度からの新規事業として、春夏秋冬鎌倉武(KamaClub)を実施しているが、10月1日と11月3日に開催した鎌倉武～秋「鎌倉スケッチtime」と「自然学習」の状況について報告する。

鎌倉武～秋「鎌倉スケッチ time」のスケッチ会は、10月10日（月・祝）に吉屋信子記念館で開催した。吉屋信子記念館は、昭和37年に建築家の吉田五十八氏が設計し、小説家の吉屋信子氏が晩年を過ごした近代数奇屋建物である。平成29年には国の有形文化財にも登録されており、現在、鎌倉市の生涯学習施設として、生涯学習課が管理している。スケッチ会当日は曇天の中、雨が心配されたが画材等を工夫し、室内のスケッチも可能となった事から開催できたものである。小学生9人、学生ボランティア3人、また鎌倉文化協会技術連盟から指導者3名、合わせて15名の参加であった。実施の様子については、資料「鎌倉市教育委員会 note」をご覧ください。参加した小学生達は室内にある書斎、和室、応接間などの見学後、それぞれが場所を選んでスケッチを行った。また、美術連盟の指導者に構図や色の使い方を興味深く質問するなど、各々がスケッチに時間を熱心に過ごしていた。実施後のアンケートでは「違う学校の人やボランティアの人と話す事が出来た」「楽しく絵を描くことが出来た」等の回答が多く見られた一方で「吉屋信子記念館について知っていたか」と言う質問については、ほとんどの児童が「知らなかった」と答えていた。吉屋信子記念館が文化財としても価値のある社会教育施設であることの周知がまだまだ不十分であることが今後の課題と改めて感じたが、スケッチを通じて新たな交流や文化財学習体験が出来たと考えている。

次に鎌倉武～秋「自然学習」は、11月3日（木・祝）に鎌倉女子大学保坂和彦教授を講師に迎え、鎌倉女子大学大船キャンパスのビオトープで自然学習を行った。開催日の当日は、小中学生10名、学生ボランティア6名の参加があり、屋外で植物当てクイズをしながらの自然観察やビオトープでの生き物の採集等、様々な活動等をして自然について学ぶ事が出来た。

最後に、今後の鎌倉武(KamaClub)の予定は、12月11日（日）に「子どものためのウインターコンサート」を開催する。ウインターコンサートは市内在住、在学の小中学生とご家族が観覧参加し、ブラスバンドで使用する楽器の紹介を受けながら、冬の季節ならではの音楽や、子どもたちに人気のアニメソングなど演奏を鑑賞していただく催しで、280名の観覧募集を始めている。観覧のお知らせはホームページのほか、お子様が直接チラシを手にとって開催を知っていただけるよう、鎌倉市内の全小・中学校でチラシを配布する予定である。また開催にあたっては新型コロナウイルス感染症の状況や感染や感染対策の徹底等を図りながら進めていく。

蛭田議長

只今報告を受けた鎌倉武～秋の事業についてご質問、ご意見はあるか。なければ了承することとする。

イ 鎌倉市生涯学習センターの運営について（生涯学習課）（議案集 P2）

森生涯学習課長

8月19日の第2回社会教育委員会報告でも伝えているが、鎌倉市生涯学習センターは、令和4年10月1日から鎌倉CITYパートナーズを指定管理者として、管理運営が始まった事を報告申し上げる。今回は、鎌倉CITYパートナーズの管理運営に伴い、鎌倉市生涯学習センターとして改善できた箇所を中心に報告する。まずは、鎌倉市生涯学習センターの周知に関するものについて、鎌倉生涯学習センターのリーフレットやホームページを一新している。資料はお手元の「鎌倉市生涯学習センター」リーフレットの方をご覧ください。リーフレットは利用する方が手に取って、生涯学習センターの事を知っていただくものである。新しいリーフレットでは、各部屋の特色や使用料金を写真や表で案内するほか公式ホームペ

ージも紹介している。ホームページでは、各施設の概要や、お知らせのほか、施設のイベント状況なども届けている。また Web 上から利用に関する質問等にも答えができるような工夫もしている。

次に施設の充実化に関して説明する。鎌倉生涯学習センターでは Wi-Fi 環境が整備された他、一階部分には飲料水やスナック軽食、おむつなどを取り揃えた自動販売機の設置、また利用者が休憩やご歓談して楽しむためのステージとして、テーブルセットの設置等、過ごしやすい環境づくりを進めた。なお設置された自動販売機のうち 2 台については、スクールコラボファンドの寄付型自動販売機になっており、ご利用によって、学校環境への支援が出来きるので、多くの方にご利用いただきたいと考えている。最後に指定管理制度導入後の状況について説明する。指定管理者からは、10 月 1 日の指定管理制度開始から本日まで、大きな混乱はないとの報告を受けているが、利用区分や利用時間、入れ替えなどで不便があるなど、利用者側の声も伺っているところである。今後も利用する方々から利用の実情を良く傾聴し、意見や要望を伺いながら、鎌倉市生涯学習センターはより利用しやすい施設であり鎌倉市の生涯学習の拠点とあり続けるよう、教育委員会と指定管理者が密に連携し運営に努めていきたいと考えている。

蛭田議長

鎌倉市生涯学習センターの運営について質問、意見はあるか。

島田委員

市民の施設利用にあたって、減免の取り扱いや使用料の増減など、何か具体的に変更があった事があれば教えていただきたい。

森生涯学習課長

利用料は、市の他の施設と同じように、およそ 1.2 倍の利用料金で料金改訂をしている。減免等については今までと同じように、減免団体は、利用者にとっては 50%減免であれば 50%減免での利用は出来るが、残りの 50%は市の方が負担するという事で、実際は指定管理者利用料金が出ているという状況になる。

島田委員

特に減免規定については取り扱いに変更がないという事でよろしいか。

森生涯学習課長

その通りである。

山梨委員

説明にあった、市民から質問が来ているという話だが、具体的にどのような質問がきているのか。今、島田委員から質問があったような内容で質問が来ていると言うことか。

森生涯学習課長

大きな混乱はなく、時間区分についての意見は少ないと伺っている。利用する市民が困っている具体的な事例としては、入れ替え時間は設けており、終わってから 15 分で片付けをし、更に残り 15 分で次の方が入って準備をする様な措置を取っているが、入れ替え時間が終わった途端に片付けの最中に次の方が入って来てしまうということがる。そうすると利用の切り替えがうまく出来ないというように伺っている。

中島委員

私達は学習センターで集会室を使って練習をしている。最終時間の午後 7 時から 9 時を使っているが、入れ替えの前の時間に関しては 15 分前という形で良いが、終わって 9 時に閉館なので 9 時に出てくれと

言われる。そうすると、その 15 分の後ろが無いので練習は 8 時 40 分とか 45 分に終わってから片付けをして出ていかなければならないと 2 時間の利用では無い。この間も館長に話して、2 時間なのに前倒しなのか、後の 15 分は使えないのかと言ったところ、9 時に退室という事だった。その辺の事は不思議に思っている。私達は後の 15 分は追加料金を払えば 1 時間使えるが、ほかの時間区分体は 2 時間の中にはそれが含まれているのに最終時間で使った時にそれが含まれないというのは少し不公平だと思った。

蛭田議長

その辺は如何か。

森生涯学習課長

最終時間についてのご不便があるという事で理解させて頂いた。解決が出来るどうか分からないが、今後、指定管理者ともこのような声があると言う事で検討を進めて参いくので宜しくお願いする。

蛭田議長

他にあるか。無ければ了承するという事にする。

ウ 大船支所外壁工事に伴う、大船学習センターの開館状況について（生涯学習課）（議案集 P3）

森生涯学習課長

令和 4 年 10 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの大船支所の外壁工事に伴い併設する大船学習センター及び大船図書館の開館状況について報告する。大船支所では、施設維持のため令和 4 年 10 月 1 日から外壁等の改修を実施しているが、騒音等の発生が予想される期間に関して教育委員会では数通りの措置を講じている。大船学習センターの利用に関しては、利用時にコミュニケーションを必要とする活動内容である事や利用料金をいただく観点などから、令和 4 年 10 月 1 日から令和 5 年 1 月 3 日までの期間の休館とする。また、大船図書館の利用に関しては個人単位のご利用となる事から、この影響度合いや個人差がある事から短時間で利用を推奨しながらの開館とするものである。

蛭田議長

質問、ご意見があるか。なければ了承することとする。

エ 第 4 次鎌倉市図書館サービス計画の取り組み状況について（中央図書館）（議案集 P4）

栗原中央図書館長

本日、紙資料で 2 枚配布している。鎌倉市では、平成 31 年に策定した第 3 次鎌倉市図書館サービス計画に基づき鎌倉市図書館ビジョン「繋がる広がる 100 年図書館の実現」を目指し様々な図書館における施策を推進している。この第 3 次サービスの期間が令和 4 年度(2022 年度)の末をもって満了となるため、現在令和 5 年度第 4 次鎌倉市図書館サービス計画の策定作業を行っている。本日は、その策定状況の素案等に付いて報告するものである。手元の資料は未定稿の物であることを伝えておく。現在、図書館の中で検討を重ねているが、方向性がまだ確定してない部分もあり、本日も意見を頂戴出来ればと思っている。改訂の主旨は、図書館法等に基づき、鎌倉市図書館ビジョンのもと、コロナ禍で達成出来なかった第 3 次サービス計画の目標を新しい生活様式を鑑みながら再検討し、中長期的な課題及び短期の達成目標を設定、目標達成と喫緊の課題への対応を行おうというものである。また、令和 10 年度に予定されている本庁舎移転に伴う新深沢図書館の開館、その後の本庁舎跡地での新中央図書館の開館に向けた検討も行おうとしている。次に 2 の内容としては、鎌倉市では現行計画作成時に合わせてこれからの図書館の

あり方を示す鎌倉市図書館ビジョン「繋がる広がる 100 年図書館」を作成し、このビジョンの実現に向けて取り組んできた。第四次計画期間内の目標として第 3 次計画に定めながら、コロナ禍で実施出来なかった事業に取り組むと共に、新たにコロナ禍により進まなかった事業等も取り戻し、更なるサービスの充実を図るものである。また会計年度任用職員の技術の向上に努めレファレンスの強化を図り、利用者に役立つ図書館、より良い図書館を目指して行く。各種電子サービスなどデジタル環境の整備を進め、利用者の利便性の向上を図る。この 3 点を計画の目標として図書館サービスの一層の充実を目指したいと考えている。現在捉えている課題としては、コロナ禍における図書館に求められる役割の変化、図書館におけるデジタル化社会の対応、職員の研修を重ねる事による技術スキルの継承、また施設の老朽化、新庁舎併設される新図書館の建設に向けた検討も進める必要があると捉えている。具体的な事業の取り組みとしては社会情勢の変化を踏まえ、第 4 次計画では特に持続可能な図書館運営に向けて様々な課題を整備しての土台作り、図書館サービスを支える人材の育成と確保の 2 点の視点を重点として捉えながら施策を推進すると共に中期的な取り組みとして、令和 10 年度に予定されている本庁舎移転に伴う、新深沢図書館その後の本庁舎跡地での新中央図書館の開館に向けた検討を鎌倉市新庁舎等整備基本計画、鎌倉市市庁舎現在地利活用基本構想に基づき進めていく。計画期間については、令和 5 年度から令和 7 年間までの 3 年間とするところで現在進めているところである。最後に今後の予定だが、素案の策定を進め、出来れば 12 月にパブリックコメントを実施し、いただいた市民からの意見、市議会 12 月定例会でのご意見、庁内関係課の意見、図書館協議会の意見など多方面からの意見を素案に反映させ、第 4 次計画として策定したいと考えている。

蛭田議長

ただいまの報告についてご質問、ご意見はあるか。

田中委員

本当にこれから図書館の計画が、ちょうど都市によっては本屋が無くなっているという状況にある。公的な資金で援助すると言ってもどこもなかったり、大型書籍店でも本に関しては赤字であるという。他の物を売りながら何とか維持しているような状況の中で、新しい図書、これからの図書館を考えるにあたっては、鎌倉市には、デジタルとの関係とか、今まで持っている蔵書をどのように取っていくのかというのか、和紙本なども含めてその防火や防水や防湿という事も考えながら、より良いサービスで新しい図書館というのを古都鎌倉の図書館としてやってもらいたい。きっとお金の関係が出てくると思う。デジタル化の中、本は必要ないのではないかと思いつつも、我々授業等でもそうだが、極端に言えば紙ベースだと書き込めたり、何度も戻って読み返しして行間を読んだりとかが出来ののだが、そういう事までされなくなっているという様などころがある。本の良さもあり、デジタルの中で、どのようなあり方がよいのかと言うものを是非お願いします。

栗原図書館長

デジタル、電子図書館は時間を選ばずに利用出来る。その意味では、近隣市でも少しずつ導入が始まっている状況にあり、またデジタルもさることながら、やはり紙の方がいい、紙だと愛着が持てるなどの話もあるので、その辺をどのように両立させながら進めていくのか、また資料の保存についても、これも最終的にはデジタル化とか何かの別の形で残していくという事になるのかと思う。もちろん今ある貴重な資料はなるべく酸性化防止とか色々な手段を使い、長く原本を残していきたいとも考えている。今回新しい図書館を建設するという話が出てきたので、これをチャンスと捉え、何が皆さんに喜ばれるのを見

極めていきたいと考えている。

梨本委員

非常に計画を楽しみに期待して聞いていた。質問だが、深沢図書館が新市庁舎に入って、その跡地に今の中央図書館の機能が入るという事だが、今中央図書館で使われている近代史資料の扱いについては引き続き中央図書館で行うという事か、それとも深沢図書館が中央館的な機能を担うと言う事に変わっていくのか。

栗原図書館長

深沢に新しい市庁舎が出来て、深沢の図書館が併設されるのが令和7年度。引越して落ち着いた後に今の市役所庁舎の跡地に中央図書館が移転する。スケジュールはそのような具合になっている。暫く先だが、今は私どもが近代史資料を所管しているので、そこで持っている資料も含めて今後も活用できるように図書館で捉えられればと思うが、実際にその後の展開というのは、施設で役割分担もあるので、再編という事もあるかもしれない。はっきりと申し上げられない状況ではあるが、今ある資料は図書館でその時期が来るまでの間、しっかりと管理していく。

遠山委員

新しい図書館が始まった時の想定だが、学生の子たちが勉強できるスペースとか、色々な取り組みが出来るスペースというのは想定の中にはあるのか。

栗原図書館長

現在だと学生が勉強するスペースが提供されている。庁舎が出来た際には、今まで図書館は静かにするのだ、と言う図書館のイメージが強かったが、今日本各地で出来ている新しい図書館は新しい展開があり、皆で喋れるスペースがあったり、学習スペースがあったりと可能性が広がっていると思う。学習スペースがどうなるかという詳細までは設置する事も含めてまだ始まってないが、皆さんがこのような図書館だったら利用したい、こんな図書館があったらいいという意見をしっかりと踏まえ、出来る限りの事をしていきたいと考えている。

佐々木教育文化財部長

本来、図書館と生涯学習センターについて、この社会教育委員会議の中で、報告しなければならない案件だった。今まで報告していなかったのは誠に本当申し訳ない。新しい庁舎については深沢の事業用地のところに本庁舎が移転し、そこに深沢の行政センターに入っている深沢図書館と生涯学習センターを複合化していくという事になっている。新しい庁舎においては、市民の交流スペースとかそのようなものも設けるようにしており、スペース、図書館、学習センターが近いところで有機的に取り扱いができるような基本計画になっている。深沢の図書館については、子育て支援機能であったり、バリアフリー化、親子でゆっくり閲覧できるスペースなど、利用者層に応じた空間作りをしていきたいと言う事と、現在も深沢の図書館が子ども読書センターという機能を持っているので、そういったものも当然深沢の方の新しい庁舎の中で設けて、必要なスペース等も確保していくというような形で搬送業務もスムーズなような配置をしていきたいという形になっている。インターネット環境だけに限らず、サービス提供も検討していくという事になっており、学習センターとも連携しながら必要なスペース、飲食可能なスペース、集会展示スペースなど市民交流スペース等と連携したような取り組みが出来る様な施設作りを今目指しているので、具体的にはこれから設計に入っていくことになるが、今は本庁舎の基本計画の中ではそのような方向になっているのでご承知おきいただき、また機会があったときにはご説明をしたいと思います。

う。

蛭田議長

鎌倉市の図書館というのは凄く大事だと思う。歴史資料から展示図録、文化財図録、子どもの絵本とか皆さんが目を向けている事だと思う。なにしろ著名な方が住んでいたり、鏑木清方記念館や国宝館もあり、川端康成とか鎌倉近代文学といえる鎌倉文士たちもいる。過日、神奈川県立図書館も新しくなった。私は鎌倉の図書館の利用者だが、国立国会図書館がデジタルアーカイブのサービスを初めた。私は横須賀だが、横須賀ではやっていないので鎌倉にお願いしてという事があった。近隣の市町村での相互共有と言われているが、そこが難しいようである。それと、もう一つは鎌倉には色々な資料があるので、まだ捨てないで欲しい。捨てたら終わりである。私が言ったらある人が、こんなものを毎年取っておいたら何万トンというものが出たらどうするのだ、と。そういう意見は駄目と言われたが、選書、選択、選定である。選書は凄く難しいかと思うが、特に鎌倉の場合には全国の色々な文化情報があり、是非図書館を別の角度から検討していただいているかと思うがよろしくお願ひしたい。特に古い物を捨ててしまうのではなくて、明治時代でも大正でも江戸時代でもそうなのだが、朱子学的立場から言うと稀覯本が凄く大事である。そういうものも手に入らない物は結構あるものである。ほかに意見・質問はあるか。なければ了承とすることとする。

オ 第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画の取り組み状況について（中央図書館）議案集 P5

栗原図書館長

鎌倉市では、子ども読書活動推進計画において鎌倉に暮らす全ての子ども達の読書環境の整備に取り組んでいるところである。現行の第3次鎌倉市子ども読書活動推進計画の期間が令和5年3月末を持って満了する事から、令和5年4月からの3ヶ年計画として、計画素案の作成を進めており、本日その取り組み状況について報告するものである。資料は、1、改定の趣旨 子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、国や神奈川県計画を基本とし、鎌倉市がこれまで実践してきました活動の成果、新たな課題解決を目指すとともに、近年の社会情勢の変化等踏まえ、基本目標を定め、その目標実現に向けた基本方針の策定、そして具体的な取り組みを明らかにし、更なる活動の推進を図る為、計画の改訂を行おうとするものである。2 内容、基本目標は第3次計画の目標を踏襲し、子どもたちが求める時に自由に本を選び本に接する事ができる、そして本の探し方や本の楽しさを伝えてくれる人のいる豊かな読書環境を家庭、地域、学校、図書館、行政が連携して整備して行く事とする。基本方針についても第3次計画を踏襲し読書の楽しさを伝える事を応援する、どこでも読書を応援する、子どもと本を繋ぐ人達を応援する、の3点とする。現在の課題としては、読書バリアフリーへの対応、電子情報と紙情報のハイブリットな活用の工夫、新型コロナウイルス感染症対応等の社会情勢の変化に応じた読書の環境整理、ヤングアダルト世代の読書時間の減少、今後新市庁舎に移転する深沢図書館等での居場所としての賑やかな図書館のあり方の検討というものがある。計画期間内に重点的に取り組む視点としては、社会情勢の変化を踏まえ、特に読書バリアフリーへの取り組み、紙資料とデジタル資料、GIGA スクールを含むデジタル資料によるハイブリットな情報活用、ヤングアダルト世代への読書活動の推進、新しい図書館の整備に向けた検討の4点の視点を重点と捉えて施策を推進していく。基本方針を実現させる為の取り組みとしては記載した通りとなる。それらの施策の推進に当たっては、家庭や地域、幼稚園、保育園、学校等、図書館、行政機関が連携して皆で子どもの読書活動を応援して行きたいと考えている。3、計画期間につきましては、

令和5年度から令和7年度までの3年間とする事で作業を進めている。最後に今後の予だが、この後、素案を固め、12月にパブリックコメント実施し、市民、市議会12月定例会、庁内関係課、図書館協議会の意見等、多方面からの意見を素案に反映させ、第4次計画として完成させたいと考えている。

蛭田議長

ただ今報告を受けたが質問、意見等あるか。

梨本委員

第4次図書館サービス計画について質問だが、今後、新しい深沢図書館が出来ていくという事も最近言われていると思うが、深沢図書館の子どもの読書活動拠点みたいな機能が今後も続いて行くと理解してよろしいか。

栗原図書館長

現在、深沢図書館を子ども読書の推進の拠点にしているが、これは新庁舎に移った後にも引き続き拠点として、そこを中心に子どもの読書を推進していきたいと考えている。

議長

他にあるか。

石井委員

基本方針の1から4の中に、子どもの読書パックの活用というのがあるが、「子どもの読書パック」とはどのようなものなのか。

栗原図書館長

それぞれの学校には図書室があり、様々な本を取り揃えている。ただその更新をするという事がなかなか難しいところで、図書館でできる支援として、子どもの読み物のパック、例えば20冊、40冊の単位でお子さんに提供できる物を用意し、学校から求められた時にその本を貸し出し学習、勉強に役立ててもらっている物である。修学旅行の内容だったり、生活であったり、様々な分野に亘っての物を用意し、好評を得ている。

品川委員

使わせてもらっている学校側だが、すごく助かっている。例えば今、修学旅行という話があったが、日光に行く時に学校の図書館には日光の本が何冊かはあるが、みんなで一斉に日光の事を知りたい、と思った時に冊数が足りない。そうすると20冊まとめて、学年とかクラスにそれを貸していただける。期間はもちろんあるが、集中して楽しむことが出来る。そのほか、朝読とかの読書の色々な話も、いつも図書室に借りに行かなくても、教室にそれが届くと、やはり手に取りやすいというようなこともあり。すごく助かっている。ただ、同じ時期に全部の学校で同じように使いたい、ということがあり、人気なので沢山揃えて欲しいという要望がある。

蛭田議長

こんなことは聞きにくいですが、神奈川県内で鎌倉市の資料購入費は何位くらいか。

栗原図書館長

今手元に資料はないが、あまり上位ではなかったと思う。

蛭田議長

資料購入は大変なのではないか。

事務局

効率的に何が一番求められて、また、何に活用出来るのかを選びながら購入をしているところである。

蛭田議長

図書館も資料を揃えるのが大変とのことである。新しい構想の図書館ということだが、まず資料が無いと図書館にならないという考え方がある。話を伺ったが、他はよろしいか。なければ了承することとする。

カ 令和4年度の図書館での取り組みについて（中央図書館）（議案集 P6）

栗原図書館長

中央図書館では4月以降も様々な取り組みを行ってきたが、そのうちのいくつかをご紹介します。まず「ジャパンサーチへの鎌倉市図書館デジタルアーカイブ公開について」である。鎌倉市図書館のデジタルアーカイブ「鎌倉市図書館近代史資料室」では、より多くの方に本市の所有する写真等の資料をご覧いただくために、令和4年9月から国立国会図書館が運営しているデジタルコンテンツのポータルサイト「ジャパンサーチ」でのデータ公開を開始した。これにより、鎌倉市図書館が所蔵する古文書、古絵図、古写真等のうち、1,176点の画像データの書誌がジャパンサーチから横断検索できるようになった。効果としては、資料に興味のある方が、鎌倉市の図書館のホームページに来なくてもジャパンサーチという国会図書館が中心となって運営している全国規模のポータルサイトから検索することで、鎌倉市図書館のコレクションの存在を知らない方からのアクセスも容易となること。また、鎌倉市の図書館利用者も図書館ホームページを入口にして、全国のデジタル資料にふれる機会を選べる事が挙げられている。なお、ジャパンサーチでの画像データ公開は神奈川県内の公共図書館としては初となる。次に「紙芝居の『鎌倉玉縄のちょっと昔のお話し』の完成と活用について」である。（資料は P7）紙芝居『鎌倉玉縄のちょっと昔のお話し』は約90年前の玉縄の子どもの暮らしを描いた作品で、市内在住の石井博氏の体験を渋谷雅子氏が紙芝居にしたものである。玉縄小学校が出来たころのこと、鎌倉までいちごを売りに行ったこと、建長寺でけんちん汁を食べたことなど、当時の子どもの暮らしが生き生きと描かれ、子どもから大人まで、楽しみながら地域の歴史を学ぶことが出来る作品となっている。約20年前に渋谷氏が厚紙に描いた作品をベースに「鎌倉まちの記憶を伝える会」がリニューアルを企画、限定出版し、この度鎌倉市図書館に寄贈された。資料7ページに紙芝居の一部を抜粋をしている。出版にあたっては、玉縄図書館も編集のアドバイス等で協力する機会を得ることができ、市民と協力して地域の歴史資料を作りあげることが出来た。本紙芝居については、市民の利用に供するとともに、貴重な郷土資料として次代へ継承していく。玉縄図書館では、8月に試作版による上演会を開催したところだが、今後も、上演の機会を設ける等、様々な活用を進めていきたいと考えている。

続いて、「写真記録集制作の進捗状況について」のその後の経過について報告する。令和4年8月9日から9月30日まで「失われゆく鎌倉の風景を人々の記憶に残したい！～昭和30年代から50年代の鎌倉の風景を写真集に～」とした、ガバメントクラウドファンディングを実施し、制作費用のご寄付を募った。目標額の400万円は達成できなかったものの、71人の方々から191万4000円もの寄付を頂いた。写真記録集の制作のために大切に活用していく所存である。実際の制作の委託の状況だが、10月に入札を実施し、2社の応募があった。予定価格以下での落札がなかったので、その後、所定の手続きを経て野崎印刷紙器株式会社と契約し、現在、令和4年度中の発行を目指して、制作に向けて編集レイアウト作業に取り掛かっているところである。令和5年2月に鎌倉生涯学習センターギャラリーで、鎌倉の今昔写真

展を予定しており、これを契機に出版のご案内を広く行い、図書館や市役所市政情報コーナーのほか、市内書店等、一般流通での販売を実施するとともに、電子書籍の制作も併せて進めていく予定である。

次に今月末に実施するパネル展示について報告する。鎌倉ゆかりの杉原千畝と小辻節三について、展示会を中央図書館において行う。併せてイスラエル大使館の資料提供協力を得て、「空のない星ホロコーストと子どもたち」の展示会を中央図書館で行う。第二次世界大戦下、迫害から逃れたユダヤ難民に日本通過ビザを発給した外交官杉原千畝、日本で滞り期間延長に尽力したヘブライ文化研究家小辻節三、二人の鎌倉ゆかりの人物の足跡をパネル展示と図書館資料の紹介でたどる。杉原千畝と小辻節三の略年譜・関連写真パネル及び電子データについては、鎌倉歴史文化交流館から借用し展示することとしている。また、ホロコーストの犠牲者を追悼し、後世に伝える施設ヤド・ヴァシェムによって制作された展示セット「空のない星ホロコーストと子どもたち」をイスラエル大使館を通して借用し、展示しようとするものである。展示期間は令和4年11月20日(日)から12月4日(日)までとし、月曜日は休館日のため休館。場所は、中央図書館3階多目的室及び3階通路のギャラリーで行う予定である。

次に大船駅東口に設置しているポストについてのご報告である。経年劣化による傷みがあり、さびも浮かんできたことから、令和4年12月12日からおよそ10日間程度、補修を行うため、使用できなくなる。昨年、大船駅西口のポストを補修し、大変きれいになり好評をいただいた。多くの利用があるポストをきれいに維持するため、利用者に混乱が無いよう、あらかじめ周知を行い、ご協力をいただきながら修繕を行っていく。図書館では大きいものから小さいものまで、さまざまな事に取り組んでいる。

最後に図書館のカウンターにおける字幕表示システムの実証実験について報告させて頂く。コロナ禍の新しい生活様式でマスク着用、アクリル版越しの会話が多くなり、利用者の方とのコミュニケーションが取りづらくなってきている。図書館という事もあり、大きな声を出す事ははばかれる為、良く筆談を活用している状況がある。そのような中、京セラ株式会社が開発した字幕表示システムの実証実験の提案を頂いた。窓口で職員が話した声を字幕化してアクリル版に映し出し、利用者の方に文字で伝えるという仕組みである。バリアフリー法対応し障害のある方も利用しやすい環境作りに役立つものと考え協力しようというものである。この実証実験は中央図書館と玉縄図書館の一部の窓口で11月22日から12月27日まで行う。この実験結果を元に有用性を検証し、今後本格導入について検証していく。

蛭田議長

只今の報告、図書館での取り組みについて質問、意見はあるか。

田中委員

前も聞かせてもらったが、クラウドファンディングの関係の写真の記録集だが、本校は鎌倉町立で出来た学校で、市制で変わり、鎌倉市立だったのが、県に移管された。是非本校の図書館にも置きたいと思っており、それが販売されるのか、また入手する事は可能なのか。本校としては、もうすぐ鎌倉町立の1928年に出来てから100年を迎える。鎌倉高校としては、写真集を入手出来る方法があるなら、是非お願いしたいというのが我々校長や同窓会の想いでもある。その辺を聞かせて頂きたい。

栗原図書館長

写真集の販売については、これから製本等の作業に入っていく訳だが、見込みとしては2月末から3月辺り年度内に本として完成させたいと思っている。近隣書店にもご協力を得ながら一般の方向けにも販売し、図書館等での直売、更にISBNという番号をふって、一般流通にものせるなど様々なチャンネルでの入手が可能になるかと考えている。

蛭田議長

他にあるか。

杉野委員

私達も、やはり子ども達にそのような物に触れさせる機会を与えてあげられたら思うので、是非学校の方に置いていただけるよう検討いただきたい。

栗原図書館長

どの様な形で皆さんにご提供出来るのかという事はこれから検討させて頂く。また、デジタル化という形が取れば、お子さんは今学校でタブレットが配置されており、見やすい状況にあるかと思うので、教育委員会でも協議をしながら検討を進めたいと思っている。

蛭田議長

他に何かあるか。なければは了承する事とする。

キ 令和4年(2022年)11月から令和5年1月までの行事一覧について

蛭田議長

令和4年(2022年)11月から令和5年1月までの行事一覧について、特筆する行事と所管から報告、意見、質問等はあるか。

梨本委員

行事一覧表の1、2の鎌倉武の活動には、鎌倉女子大の学生もボランティアとして、活躍させていただき、非常に良い機会になった。是非続けてほしいと思う。自然学習などは、こじんまりして逆にそれが良かったというところもあったかと思う。今後も部活動の地域移行などの話も出て来てるので、自然クラブみたいな活動の代替であったり、音楽活動であったり、美術であったりとか、是非、四季にこだわらず様々な活動が今後企画されるとよいと思っているので、引き続きお願いします。

蛭田議長

ほかよろしいか。それでは了承とする事とする。

(3) その他

ア 第2回神奈川県社会教育委員連絡協議会理事会報告について

事務局

下山委員に現社会教育連絡協議会の理事を引き受けいただき、年3回の理事会の出席と今年度は副会長も引き受けいただいている。10月31日午前に第2回幹事会、同日午後に第2回理事会が神奈川県民センターで開催され、両会議に下山委員に出席をいただいた。本日は欠席なので、次回1月の定例会で下山委員より報告をいただく。

イ 神奈川県社会教育連絡協議会の地区研究会、愛川町の会場の開催について

事務局

10月に委員の皆さまにメールで案内した。会場は愛川町文化会館ホール12時30分からの式典、13時30分からは人権講話と2つの事例発表、16時に閉会の予定で開催される。出席が可能な方はいるか。

蛭田議長

出席可能な委員は、事務局まで申し出をお願いする。

ウ 次回定例会 1月の日程について

事務局

次回は1月になる。1月13日（金）、16日（月）、17日（火）で開催日を決定したい。

蛭田議長

事務局が日程調整して、決定した日を連絡するとのことである。これで第3回社会教育委員定例会を終了する。